



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 東
 コード番号 7823 URL <https://www.artnature.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 五十嵐 祥剛
 問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員財務経理部長（氏名） 井上 裕章 (TEL) 03-3379-3334
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	21,131	△0.7	1,146	△40.1	1,095	△44.2	621	△48.6
2024年3月期中間期	21,270	△0.1	1,914	△19.3	1,963	△17.3	1,208	△17.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 608百万円(△53.1%) 2024年3月期中間期 1,296百万円(△12.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	19.10	18.83
2024年3月期中間期	37.19	36.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	49,283	27,084	54.3	821.88
2024年3月期	49,851	26,870	53.3	817.17

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 26,755百万円 2024年3月期 26,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2025年3月期	—	14.00			
2025年3月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,001	5.0	2,911	9.7	2,949	8.3	1,509	3.2	46.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、P9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	34,393,200株	2024年3月期	34,393,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,838,640株	2024年3月期	1,863,139株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	32,536,600株	2024年3月期中間期	32,495,457株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会活動の正常化に伴う人流の回復や雇用・所得環境の改善などにより個人消費が持ち直したことを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、為替相場の変動や原材料価格の高騰、物価上昇による消費マインドの減退懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社では、中期経営計画「アートネイチャーAdvanceプラン」2年目を迎え、当社グループの強みを活かして、さまざまな課題に挑戦し、業績や毛髪業界シェアを伸長させるとともに、新領域の事業を獲得し拡充することで、「次代を切り拓くアートネイチャー」に飛躍させるべく、事業活動を実施してまいりました。

しかしながら、新規顧客獲得に苦戦したことに加え、コロナ禍で発生していた商品納期遅れの回復による増収影響が前年度第1四半期までで解消したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は、21,131百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、利益面では売上高が前年同期比微減になったことに加え、売上原価、販売費および一般管理費の増加により営業利益は1,146百万円(同40.1%減)、経常利益は1,095百万円(同44.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は621百万円(同48.6%減)となりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

<男性向け売上高>

男性向け売上高については、顧客定着策の推進等を実施したものの、リピート売上は前年同期比横ばい、新規売上は第1四半期の新規顧客獲得の苦戦が響き、前年同期比微減の11,480百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

<女性向け売上高>

女性向け売上高については、来店顧客数の増加等によりリピート売上は前年同期比増加したものの、男性向け売上高と同様に、新規顧客獲得に苦戦し、新規売上が下回った結果、6,314百万円(同4.5%減)となりました。

<女性向け既製品売上高>

女性向け既製品売上高については、効果的な新規出店に加え、入居する商業施設の来店客数増加による販売数の増加等により2,608百万円(同6.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比567百万円減少し、49,283百万円となりました。これは、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産が825百万円減少した一方、無形固定資産、投資その他の資産が増加したこと等により固定資産が257百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比782百万円減少し、22,198百万円となりました。これは、未払金が減少したこと等により流動負債が857百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比214百万円増加し、27,084百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであり、中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末比428百万円減少し、18,780百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益1,080百万円に加え、減価償却費563百万円、売上債権の減少597百万円があった一方、法人税等の支払157百万円、その他の営業支出1,280百万円等により、1,007百万円の資金収入(前年同期は1,272百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出457百万円、無形固定資産の取得による支出361百万円等により、996百万円の資金支出(前年同期は850百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額455百万円により、455百万円の資金支出(前年同期は461百万円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,317	18,925
売掛金	3,108	2,522
有価証券	28	31
商品及び製品	3,361	3,166
仕掛品	178	202
原材料及び貯蔵品	1,648	1,763
その他	1,203	1,411
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	28,838	28,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,635	5,589
その他(純額)	4,096	4,071
有形固定資産合計	9,732	9,661
無形固定資産		
その他	1,280	1,502
無形固定資産合計	1,280	1,502
投資その他の資産		
その他	10,581	10,738
貸倒引当金	△581	△631
投資その他の資産合計	9,999	10,106
固定資産合計	21,012	21,270
資産合計	49,851	49,283

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	292	349
未払金	2,641	1,496
未払法人税等	257	571
前受金	6,036	5,962
賞与引当金	1,060	1,104
役員賞与引当金	135	75
商品保証引当金	43	45
その他	3,293	3,297
流動負債合計	13,758	12,901
固定負債		
退職給付に係る負債	4,194	4,301
資産除去債務	3,196	3,165
その他	1,830	1,830
固定負債合計	9,222	9,297
負債合計	22,981	22,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,624	3,630
利益剰余金	19,831	19,997
自己株式	△1,045	△1,032
株主資本合計	26,077	26,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	96
為替換算調整勘定	116	123
退職給付に係る調整累計額	296	272
その他の包括利益累計額合計	505	492
新株予約権	276	317
非支配株主持分	11	11
純資産合計	26,870	27,084
負債純資産合計	49,851	49,283

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,270	21,131
売上原価	6,986	7,251
売上総利益	14,284	13,879
販売費及び一般管理費	12,370	12,732
営業利益	1,914	1,146
営業外収益		
受取利息	24	24
為替差益	54	—
その他	22	14
営業外収益合計	101	38
営業外費用		
為替差損	—	27
貸倒引当金繰入額	34	49
支払保証料	9	8
その他	8	4
営業外費用合計	52	90
経常利益	1,963	1,095
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	9	15
特別損失合計	9	15
税金等調整前中間純利益	1,953	1,080
法人税、住民税及び事業税	600	463
法人税等調整額	145	△4
法人税等合計	745	458
中間純利益	1,208	622
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,208	621

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,208	622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	96	6
退職給付に係る調整額	△10	△23
その他の包括利益合計	87	△13
中間包括利益	1,296	608
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,297	608
非支配株主に係る中間包括利益	△1	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,953	1,080
減価償却費	440	563
減損損失	9	15
のれん償却額	18	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	34	49
賞与引当金の増減額(△は減少)	△192	44
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△70	△60
商品保証引当金の増減額(△は減少)	1	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	99	72
受取利息	△24	△24
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	433	597
棚卸資産の増減額(△は増加)	4	100
仕入債務の増減額(△は減少)	△16	50
前受金の増減額(△は減少)	△367	△73
その他	△210	△1,280
小計	2,112	1,137
利息の受取額	26	26
法人税等の支払額	△866	△157
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,272	1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△26
有形固定資産の取得による支出	△632	△457
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△117	△361
長期貸付けによる支出	—	△50
長期貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△47	△38
敷金及び保証金の回収による収入	20	23
その他	△73	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△850	△996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10	—
配当金の支払額	△451	△455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△461	△455
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32	△428
現金及び現金同等物の期首残高	20,082	19,208
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,114	18,780

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	男性向け 事業	女性向け 事業	女性向け 既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,494	6,613	2,445	20,554	716	21,270	—	21,270
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,299	1,299	△1,299	—
計	11,494	6,613	2,445	20,554	2,016	22,570	△1,299	21,270
セグメント利益	7,272	4,427	2,003	13,703	650	14,353	△68	14,284

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△68百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

(単位:百万円)

	金額
報告セグメント計	13,703
その他(注)1	650
合計	14,353
調整額(注)2	△68
中間連結損益計算書の売上総利益	14,284
販売費及び一般管理費	12,370
中間連結損益計算書の営業利益	1,914

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	男性向け 事業	女性向け 事業	女性向け 既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,480	6,314	2,608	20,404	726	21,131	—	21,131
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,434	1,434	△1,434	—
計	11,480	6,314	2,608	20,404	2,161	22,565	△1,434	21,131
セグメント利益	7,174	4,024	2,099	13,298	686	13,984	△105	13,879

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△105百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

(単位:百万円)

	金額
報告セグメント計	13,298
その他(注)1	686
合計	13,984
調整額(注)2	△105
中間連結損益計算書の売上総利益	13,879
販売費及び一般管理費	12,732
中間連結損益計算書の営業利益	1,146

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。